

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館の新しい VI 提案

A2201517 佐藤 優花

研究の背景

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館(以下、カワセミ水族館)は、2000 年に「環境水族館アクアマリンふくしま」
として開館したのち、2015 年4月にリニューアルオープンした。リニューアルとともにロゴマークも一新され、地域
に密着した水族館として人気を博す施設である。しかし、カワセミが展示されていないにも関わらず「カワセミ水
族館」であることが本来の意味とかみ合わないこと、また、広報物が館内のイメージと合致しないことが、来館者
の間で混乱を招いている。これはロゴマークの持つ意図が明確に伝わらないことが原因であり、広く浸透するよ
うなデザイン性を組み込む、明確なメッセージ性を取り入れるなどといった、VI をもとにした新しいデザイン提案
が必要であると考えます。

研究の目的

本研究では、カワセミ水族館の新しい VI を提案し、「生命の共生」というテーマのもと、水族館のイメージを確立することを目的とする。地上と水中の生物がお互いに共
生するイメージを兼ね備えたデザインを制作し、よりカワセミ水族館の持つイメージに
近い構成に仕上げる。そしてツールの色やデザイン等も統一し、カワセミ水族館のブ
ランドイメージを一新する。広報物は写真・文字の扱いを改め、情報が伝わりやすく、
幅広い年代に受け入れられるような紙面の構成にする。各所に地域の環境等の視
覚的要素を取り入れ、地域の人にとってより身近に感じてもらえるような VI 提案をし、
施設そのものが地域社会と共生していくことのできる水族館を目指す。



現在のロゴマーク

研究のプロセス

1. 前期

【カワセミ水族館への調査】

- ・展示と企画展の調査
- ・主な広告媒体と必要なツールの検討

【ロゴマークデザイン考案】

- ① 「翡翠」の「翡」の字をもとに制作
- ② 展示が猪苗代湖の生き物であることから、猪苗代湖をメインとした形のロゴマークを制作



①ロゴマーク案



②ロゴマーク案

2. 夏季休業中

【現在のカワセミ水族館ロゴマークに対する来館者へのアンケート】

- ・色味が地味、要素がトゲトゲしいなどの意見
- ・より動物らしさ、水族館らしさが求められる

【アンケートを踏まえたロゴマークデザイン再考案】

- ③ 丸くやわらかい印象のロゴマークを作成
「共生」というテーマのもと、水と緑が混在するイメージ



③ロゴマーク案

3. 後期

【制作したロゴマーク案に対して来館者へのアンケート】

④ 葉脈、雫、魚の要素を取り入れたデザイン

- 制作意図がわかりづらい
- 生き物らしさ、魚らしさがない等の意見



④ロゴマーク案



⑤ロゴマーク案

⑤ 環境保護に取り組んでいることから、両方の環境を守ることで自然が保たれることを表現

- メッセージ性に簡潔さが欲しい等の意見。これらの結果を踏まえ、ロゴマークデザインを再考案

【各ツールの制作】

成果物(完成作品)

- ロゴマーク … 1点



aquamarine
inawashiro
kingfishers aquarium

- ・テーマとともに、より魚らしさ、水族館らしさを取り入れた
- ・水と緑の「共生」というテーマから猪苗代湖に映る磐梯山をイメージした形

- VI 使用ガイド … 1点
- 広報物のデザイン … ポスター2点、チラシ1点、パンフレット1点
- その他 … 展示解説パネル2点、職員名刺2点、チケット1点、年間パスポート3点



年間パスポート 表



年間パスポート 裏



チケット

考察

公共施設の VI 提案という、来館者だけでなく、水族館の職員の方々にまで納得していただけるようなデザイン制作の難しさを、身をもって実感することができた。特にシンボルマークに関しては、簡潔なフォルムやメッセージ性を表現することが難しく、スケジュールが大きく遅れてしまったことが反省点である。また、定期的に聞き取り調査を実施することで、現在のデザインに足りない要素を知ることができるとともに、本研究を通して、自身の表現の幅を大きく広げることができたように思う。